

ボランティアだより

# ほのボラ

2015年5月発行 No.25

発行 京丹波町社会福祉協議会

〒622-0311  
京丹波町和田田中6番地1  
TEL: 0771-86-1440  
FAX: 0771-88-0422  
URL: <http://www.kyoshakyo.or.jp/kyotanba/>



## 平成27年度 京丹波社協 ボランティアバンク登録状況

【全体内訳】

(5月1日現在)

	0~10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男	6	0	3	4	3	30	27	9	0	82
女	9	0	11	15	45	207	181	20	2	490
計	15	0	14	19	48	237	208	29	2	572

【地区・年齢別内訳】

		0~10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
丹波	男	6	0	2	3	1	21	6	1	0	40
	女	8	0	8	11	23	94	76	5	0	225
瑞穂	男	0	0	1	1	1	5	4	4	0	16
	女	1	0	3	3	8	42	29	11	1	98
和知	男	0	0	0	0	1	4	17	4	0	26
	女	0	0	0	1	14	71	76	4	1	167

## 衛生管理研修会開催のお知らせ

- 開催日時 平成27年6月8日(月) 午前10時00分~11時30分
- 開催場所 京丹波町瑞穂保健福祉センター 2階集団指導室・健康学習室、栄養指導室
- 内容 「食中毒の予防について」
- 講師 京丹波町保健福祉課 栄養士 上林 小百合氏
- 申し込み 5月29日(金)までに社協各支所へお申込み下さい。



本研修会は、給食サービスに関わる調理・配食ボランティア及びふれあい調理実習会や男性調理実習会に関わる、くるみの会会員、ふれあい・いきいきサロンでの食事提供に関わるサロンボランティアを対象に衛生管理の徹底をはかり、安全で心のこもった事業を提供するために開催しています。

## ボランティアインタビュー①

暮らしの応援ボランティア

### ダイナミックス(瑞穂)

高齢者、障がい者世帯を中心に草刈り、日曜大工などの暮らしに根ざした活動をするボランティアサークルです。

活動の様子



なかの しずお  
中野 賤雄さん

Q1 ボランティアを始めたきっかけは何ですか？

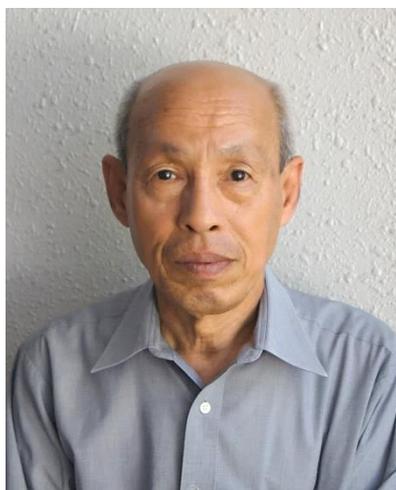
「地域の中で困っている人が多かったのと、社会のために何かしたい！という思いから、知り合いに声をかけて活動を始めました。」

Q2 ボランティアをされていて良かった事は何ですか？

「『嬉しいわ〜』『ありがとう』と活動が終わって依頼者に喜んでもらった時が一番嬉しいです。」

Q3 あなたにとってボランティアとは？

「活動を始めて20年ほどになるが、自分も無理をしないように…でもみんなに喜んでもらえる活動をしていきたいです。自分1人ではできない。みんなの協力がある活動です。」



きがみ まこと  
木上 實さん

## ボランティアインタビュー②

### 配食ボランティア (和知)

毎日給食、かけはし弁当の配食ボランティアです。見守り活動の役割も担っています。和知地区では80名以上の配食ボランティアがおられます。



活動の様子

Q1 ボランティアを始めたきっかけは何ですか？

「知人の紹介で勧められて、活動を始めました。」

Q2 ボランティアをされていて良かった事は何ですか？

「配食先の方とお知り合いになれたこと。会話も楽しみのひとつですね。

また、社会福祉に少しでも貢献出来てうれしく思います。」

Q3 あなたにとってボランティアとは？

「配食活動を通じて地域を見守る。また気づきを事務局へ繋げていく役割だと思います。」

# ふれあい・いきいきサロン情報



ふれあいいきいきサロンは、高齢化、過疎化に伴い地域のつながりが希薄になる中、ひとり暮らしであったり、昼間一人で過ごされている方が、集会所などに気軽に集い、楽しくおしゃべりなどをする中で、地域の中でいきいきと暮らしていけることを目指しています。

現在、京丹波町内には68のサロンがあり、それぞれのサロンでレクリエーションや、地域のおまわりさんや、消防署の職員さんなどによる出前講座、季節の行事などを企画するなど工夫して楽しく過ごせる居場所作りをされています。

平成27年度介護保険法改正では、地域の互助力を活かした活動が一層重視されています。ふれあい・いきいきサロンでは、気軽に集い、おしゃべりなどをする中で、生活上の情報交換や自然な見守り合いを進めていきます。

## 期待できる効果

- 孤立・閉じこもりの防止
- 顔の見える関係作り
- 無理なく体を動かせる
- 困りごと・心配ごとの発見と共有
- 生きがいの発見
- 生活のメリハリがつく
- 地域のつながりが深まる
- 防犯・減災のきっかけ等…

# グリーンハイツすみれ会サロン(丹波)



すみれ会代表  
近藤さん



なごみ会代表  
古田さん



福寿会代表  
山上さん

4月2日(木)グリーンハイツすみれ会サロンでは食事会が開かれ、約40名の参加がありました。今回の食事会ではボランティアサークル「グリーンハイツなごみ会」、老人会「福寿会」の代表者が参加され、グリーンハイツ内の3団体が交流するよい機会となりました。

また、くじで席を決め、満遍なく交流が出来るように配慮され、美味しい食事に舌鼓を打ちながら思い思いにワイワイと交流されました。

会の最後には各団体の代表者が挨拶をされ、団体の紹介や今後の展望について話をされ、今よりもより一層互いに交流を深めていこうと熱く語られました。



ボリュームたっぷりのチキンカツ



ワイワイとした食事風景



# 広瀬サロン(和知)

4月17日(金)、広瀬公民館で13名(男性5名、女性8名)の参加でサロンがありました。午前はおしゃみゲーム、昼食後はスカットボールを楽しみました。



昨年(去年)から毎月第3金曜日に固定開催し、

「来年(来れる)の時に集まりましょう」と呼びかけ合い、気軽に集まって楽しめる場作りをされています。足が痛い方がおられたら付き添いされ、ゆっくりと公民館に集まって来られます。ゲームを楽しんだり、お互いの近況を話す良い機会となっています。



「がんばれー!」応援にも熱が入ります。

## レクリエーション道具紹介「数字ひも通し」



例えば…自分の誕生日が1940年12月28日生まれは、上図のようになります。

数字ブロックの側面に穴が開いています→ひもがちょうど入る大きさです。入れる順番や向きを間違えないように入れます。昭和で誕生日を覚えておられる方が多く、西暦にすると頭の体操になります。誕生日だけでなく、電話番号なども面白いでしょう。また数字は色々な色が付いていますので同じ色で揃えてみるのも良いでしょう。手も頭も使う「数字ひも通し」ぜひ、サロンで活用してください。また、この他にもレクリエーション道具があり、

貸し出しが出来ますので、各支所へお問い合わせください。レク道具、貸し出しできます♪



## 災ボラ、ニュース!

「災ボラ」とは「災害ボランティアセンター」の略語です。



京都府共同募金会助成  
京丹波町  
災害ボランティアセンター



## テントを購入しました→

京都府共同募金会助成を使い、災害時拠点用にテントを購入しました。災害初動期にボランティア活動がスムーズに行えるように一輪車やスコップ等の資機材の調整も進めています。



【お問い合わせ・連絡先】  
京丹波町社会福祉協議会

瑞穂支所 ☎86-1440 (榎川)  
丹波支所 ☎82-0126 (岡本)  
和知支所 ☎84-1833 (湊)